

原料原産地名の表示方法(案)

1. 原料原産地名を表示する欄

現行の表示方法である表示例1, 2のほか、表示例3, 4による表示方法も認めることとする。

名 称
原材料名 ○○(A国)、.....
内 容 量
賞味期限
保存方法
製 造 者

表示例1: 原材料名欄に括弧書きで表記

名 称
原材料名 ○○、××、..
原料原産地名 A国
内 容 量
賞味期限
保存方法
製 造 者

表示例2: 原料原産地名欄による表記

名 称
原材料名 ○○、××、.....
原料原産地名 商品名下部に近接して記載
内 容 量
賞味期限
保存方法
製 造 者

商品名
原料原産地名 A国

表示例3: 記載箇所を明示した上で枠外に記載

名 称
原材料名 ○○、××、..
○○の原産国名 A国
内 容 量
賞味期限
保存方法
製 造 者

表示例4: わかりやすい事項名で記載

2. 複数の原産国の原料を混合して使用する場合への対応

表示例5を基本としつつ、表示例6についても認めることとする。

名 称
原材料名 OO(A国、B国、C国、D国)、××、..
内 容 量
.....

表示例5: 使用割合の多い順にすべての原産国名を記載

名 称
原材料名 OO(A国、B国、その他)、
××、..
内 容 量
.....

表示例6: 主として使用する2ヶ国のみを表示

~~名 称
原材料名 OO(原料原産地不分別)、
××、..
内 容 量
.....~~

表示例7: 原産国を特定できない旨を記載

「不分別」表示の意味がわかり
にくく、不適切。

3. 使用する原料の原産国が変動する場合への対応

表示例10、11についても認めることとする。

(1) 使用頻度の高い原産国を記載し、その他については変動する旨を記載

~~名 称 ……
 原材料名 ○○(A国産:ただし、6月~9月は
 B国産を使用することもあります)、××、…
 内容量 ……
 ……~~

表示例8

~~名 称 ……
 原材料名 ○○、××、…
 原料原産地名 商品名
 内容量 ……
 ……~~

商品名
 原料○○はA国産を中心
 に、B国産、C国産のい
 づれかを使用します

表示例9

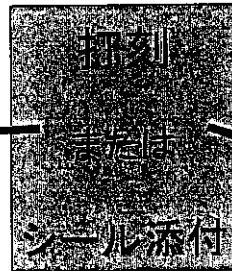
当該製品に使用していない原産国名も表示されること、表示があいまいであることから不適切。

(2) 包装に事前に印刷するのではなく、打刻やシール添付による対応

名 称 ……
 原材料名 ○○(A国、B国、C国)、××、…
 内容量 ……
 ……

注: 本商品に使用した原料の原産地を ○ で示しています。

表示例10: 原産国名を列記し、当該製品の原産国名に○を付す



名 称 ……
 原材料名 ○○、××、…
 原料原産地名 商品名下部に記載
 内容量 ……
 ……

表示例11: 原産国名を打刻

商品名
 原料原産地名 A国

表示例12についても認めることとする。

(1)使用頻度の高い原産国を記載し、その他については変動する旨を記載

<p>名 称 …… 原材料名 ○○(A国産)、××、… 内容量 …… ……</p>	<p>商品名</p> <p>原料の調達事情により原産国は変動する場合があります。 この商品の原産国については、弊社にお尋ねください。</p>
---	--

表示例12:原料が変動しうる旨を一括表示とは別に記載

表示例5, 6についても、「原料の調達事情により、原産国の重量順は入れ替わる場合があります。この商品の原産国については、弊社にお尋ねください。」との注をつけることを可能とする。